838
297
116

本朝武家諸姓分脈系図

内田 生
本多 氏
山田 家
金子 紀

鉛本 後藤

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

根岸信輔氏寄贈

紀姓 中里

本國下野

紋 [illegible]

曙化色 八花形

考元天皇

彦太忍信命

屋主忍雄命

武雄心命

武内宿禰 賜紀姓 生國紀伊

木菟宿禰

眞鳥宿禰 平郡大臣

茲矢日連 武烈天皇臣

眞作臣

小定臣

墨手臣 推古爭明臣

大戸臣

大人 天不正三位大納言

園益 乙巳下

諸人 千在 俗大祓卿祖也 贈大政大臣

櫲 正二位大納言

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

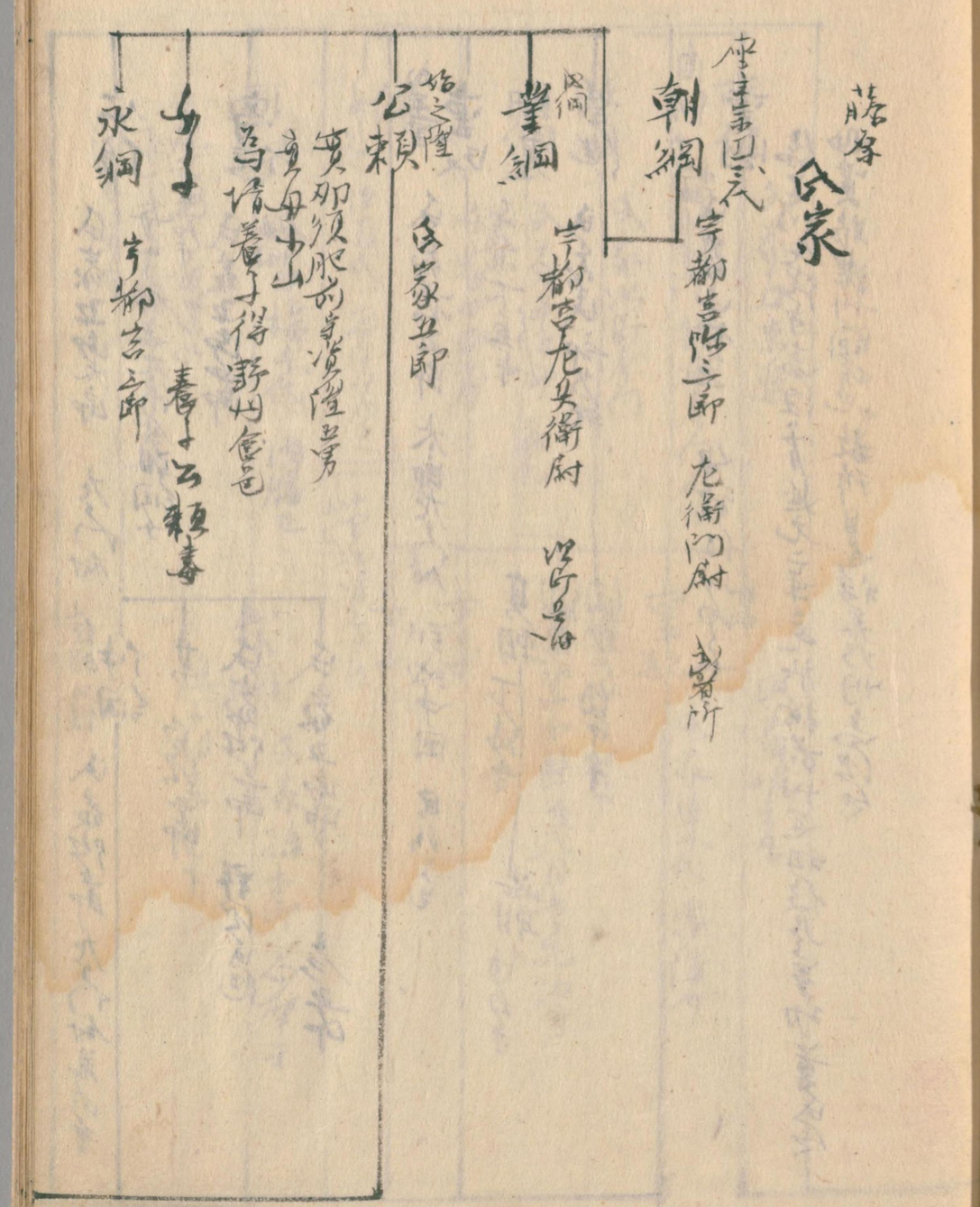
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

藤原



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

女子
母従五位下
某 加藤左衛門尉
女子
女子

久国 民部少輔 清泰
従五位下

女子
女子

河吉四郎左衛門尉

寿

貞純親王
源経基 鎮守府将軍 満仲 摂津守
一柱

頼光 摂津守 従四位下 長保三年六月九日卒 六十三

頼国 下野権守 寛仁元年六月廿九日卒 六十

頼信 陸奥守 従四位下 正二位 鎮守府将軍 長元四年七月十九日卒 七十四

頼義 伊予掾 鎮守府将軍 陸奥守 正四位下 従三位 天喜五年九月十七日卒 六十二

義家 鎮守府将軍 正四位下 従三位 嘉承二年八月廿五日卒 六十八

義国 新田冠者 従五位下 帯刀先生 保延三年正月廿日卒 六十

義重 新田太郎 従五位下 上野介 建久三年閏二月廿日卒 八十

義康 足利太郎 従五位下 下野守 建久三年閏二月廿日卒 八十

義清 武田太郎 従五位下 刑部丞 帯刀先生 保元元年七月廿三日卒 六十

義光 刑部丞 新羅三郎 従五位下 甲斐守 治承四年九月十四日卒 六十

義綱 賀茂次郎 従五位下 加賀守 従四位下 天治二年十月廿日卒 八十

義忠 左馬助 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義隆 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義宗 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義時 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義成 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義行 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義房 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義清 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義宗 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義時 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

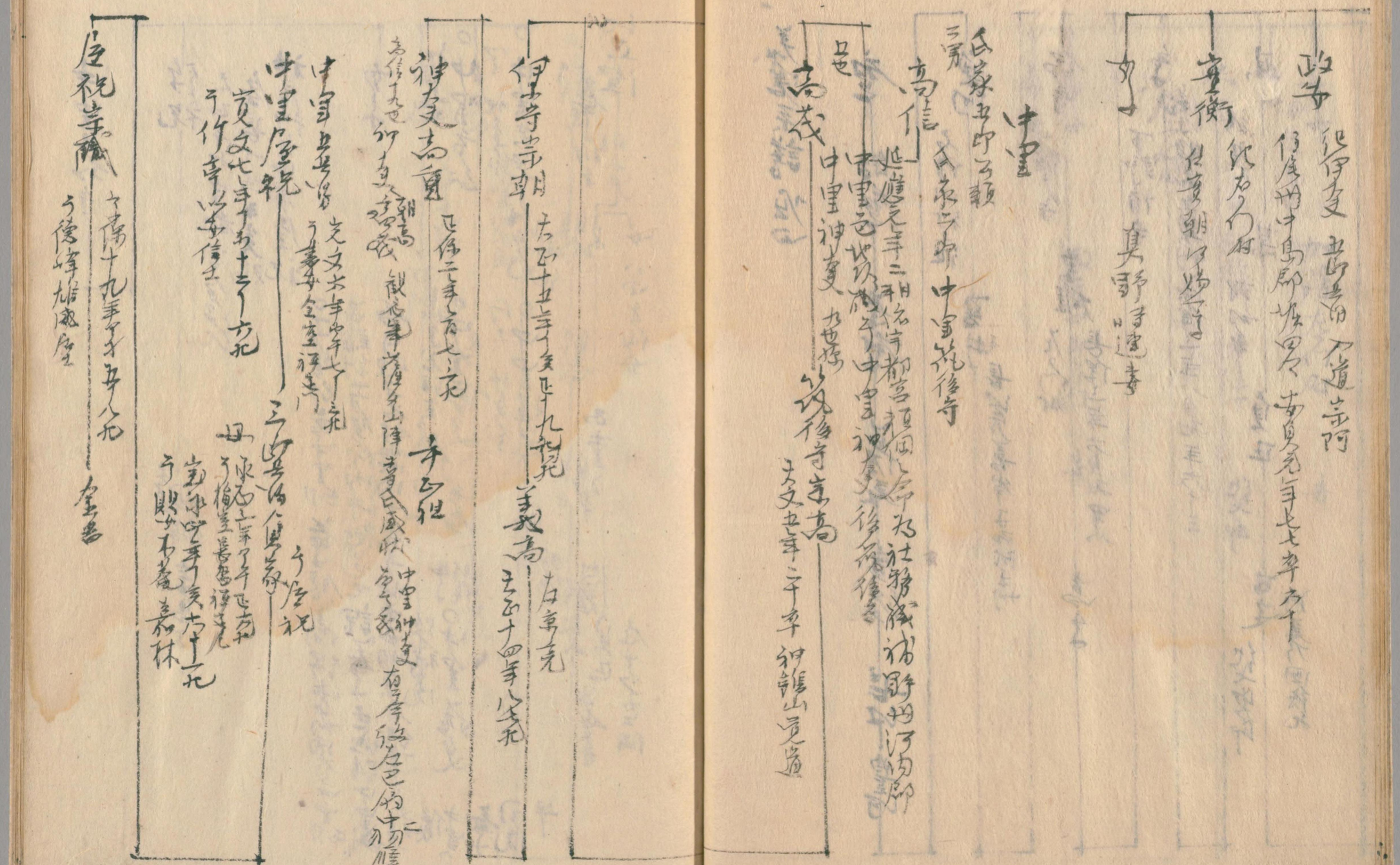
義成 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義行 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

義房 従五位下 対馬守 天仁元年八月廿日卒 四十

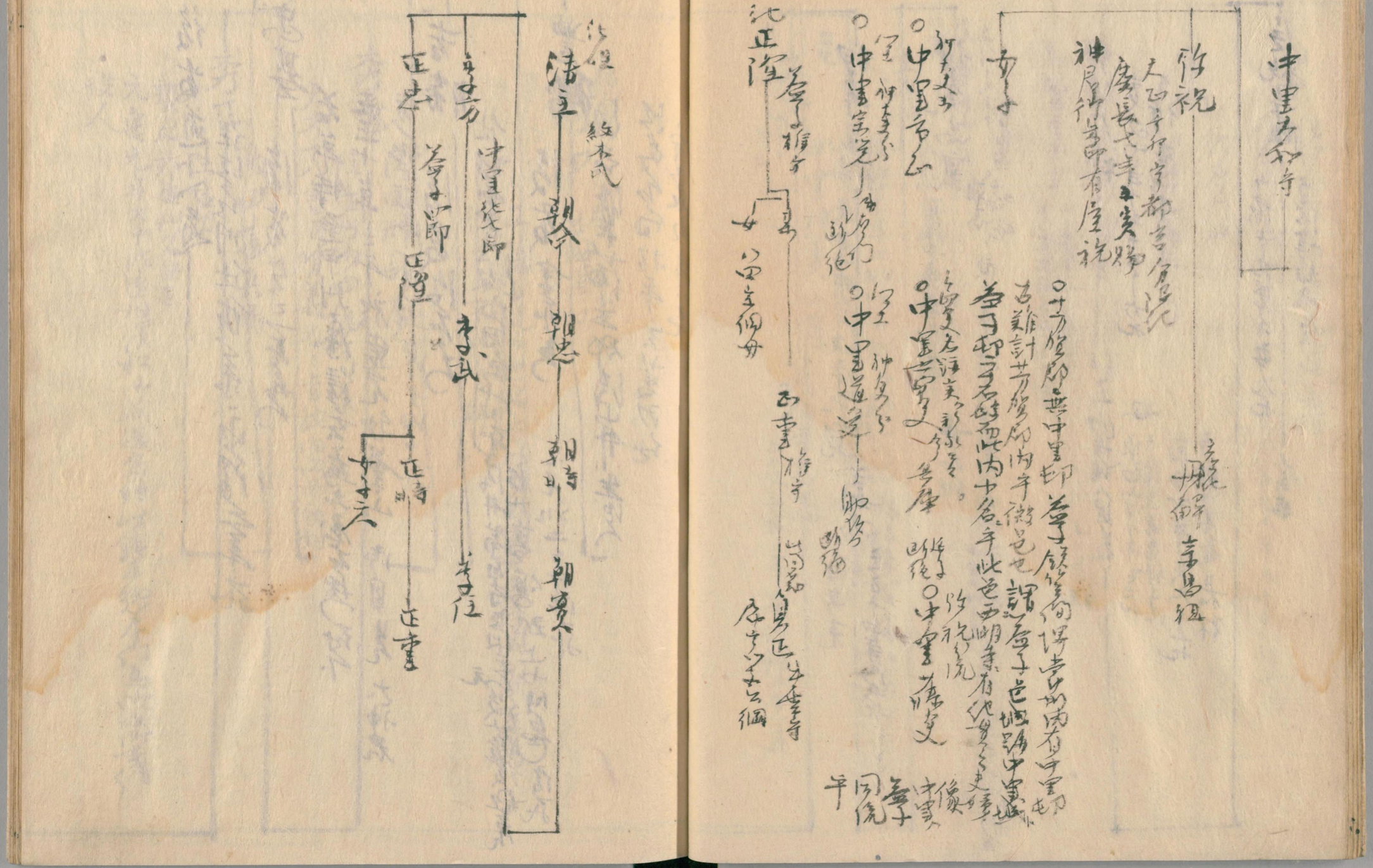
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



後藤道下入道
住江州仕佐木三郎

忠基 後藤左兵衛尉 若年時至甲州屬信玄 天正十年三月於甲斐天目山 討死

吉勝 後藤治右衛門 仕甲斐民部少輔 後改金左衛門

豊勝 後藤金左衛門 江戸浅草蔵前住 初名清井儀右衛門 後改後藤 元祿二年三月死

藤原
内田 本國遠江 工藤之流而世居遠州内田後其邑号内田氏 家譜 行矢而不能紀之詳

秀兼 内田刑部左衛門尉 住遠州内田後号内藤家 天文十九年三月背義元之旨放内田而食封

秀正 内田喜兵衛 生遠州 執居於遠州久留邑 元龜元年十月於遠州濱松城造営時以鉄本鍬為役夫而働事

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

秀友　内田喜兵衛　刑部少丞
生遠州
於遠州寿仕
大神宮十八年五禽早苗之
青山伯耆守組

秀俊　内田喜三郎　改喜兵衛
生遠州
天正十六年戊子父跡相續
同十八年庚寅小牧之役於江戸
賜路銀上京以家根普請之職人下向於鎌倉刀動御造営日無家根普
慶長十九年甲寅大坂役以青山伯耆守指圖副于奥方横田源兵衛登
大坂同廿年乙卯夏大坂再乱御
陣中詰汁御陣営於御屋敷守
被蕩御厩之足組歟之事

両公賜時服二百重五枚後江戸還
元和五年己未四月　死

某　内田市右衛門
生遠州

秀俊　某　内田喜三郎　喜兵衛
卅
元和五年己未父跡職為御座根御
補御用毎度勤御手當為鈴本近江
守
寛永十年癸酉　御光臨時御道中筋　御殿向勤于座根御
父酒井因幡守川口長三郎日光御
作料領米等受取於所々組
寛文五年乙巳以病致仕同十二年壬子五月　卒

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

内田新之助

某　内田喜兵衛　助鈴木氏

女子

某　内田喜兵衛　助鈴木氏

女子

寛文五年乙丑　為父弟相続

延宝八年庚申　従父命登城　御目見献御剣子五竹節

御白書院御縁拝礼也

寛文五年乙丑三月座根津別当

根津梁喜兵衛為聞東叡山

延宝八年庚申　改姓名鈴木氏

同名等不甘義絶改姓

名字其祖内田喜兵衛

為鈴木氏嗣也

女子

某　鈴木長四郎

妻

延宝八年庚申九　父跡石川美作守

八年五節句歳暮月次御礼如先規

元禄十年丁丑

重和　鈴木長之助　長四郎

妻

元禄十年丁丑　為父跡采地并祖母方祖母守像ニ付時為相続梁喜

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

諸御禮如先規

宝暦五年乙亥　死

某
女子

女子

某　鈴木善太郎
母

宝暦五年乙亥十二　爲極官位従五位下備中守傳く　補棟梁如文時諸御禮如
先規

安永八年己亥十　致仕大明四年壬寅九月　死

某　鈴木隆市　隆門
實葡萄牙国籍　号徳兵衛

安永七年戊戌七九二願之同年十一月為養子旨并家督丹羽氏傳く
同八年己亥十一家督加納遠江守傳く為棟梁如先規改隆門
寛政六年甲寅二　致仕

某　鈴木長四郎

實澤山嘉四郎　男　無後

寛政二年庚戌十二月願同三年辛亥四月為養子安藤対馬守傳く
同六年甲寅二四等超京極備前守傳く如先規

同十二年未九廿四歿仕

某　鈴木周藏
實沢山喜四郎　男

安永六年丁酉生於江戸
寛政五年癸丑八月廿四日家督同年十二月廿五日
同十一年未九廿四家督相續　傳言掘田攝津守傳ク
始養父楯之樹深元如先祖
楯右衛門國俊一年二十六父先為更加美山最勝院
剃髪傳ク　遠國ヨリ御用御作事方ヲ命ジ御用勤ル也

藤原姓
本多　本國三河　紋立葵

三州額田郡伊奈城主
本多修理亮忠豊四代

正高　本多　藤五郎
生於三州伊奈
大正十七年四年始拜
廣忠君永祿四年酉三州藤縄ヲ
大神君賞罰ヲ同十二年各遠州濱
于五十九年于五之節武州内知行ヲ百石
慶長十二年丁未年　卒年七十八

女子
嫁師二百石
野修受閑重利妻

女子　寿

嫡　李多與右衛門

庶幸　李多藤五郎　断絶

継又知行三百石御代々御番勤仕道春ニ
貞永九年壬二十死

女子

正利　李多彦兵衛　寿

女子　李多藤五郎五郎事

李多李多氏

慶長十七壬子始孝仕
台徳公為御倉開防守但御小性組同十九甲寅大坂御陣
同廿年乙卯大坂御乱五月七日被下御感状并御書一紙
半十郎同日大得首級御感状并御書一紙
寛永元甲子年御代替ニ御道具
虎皮鉄砲援拳之備　寛同年被下候御新規御書写

女子

正成　野條彦助　元和元乙卯年大坂御陣ニ
御供　李多源五衛

仕駿河大納言殿御代ニ御合戦ニ
寛永九年壬申年御代替ニ御暇被下候
一統駿河ニ

女子　野條三平　千石

御供

女子

室　野條源三郎

御供

又受領ニ百石

無嗣

集　李多李左衛門

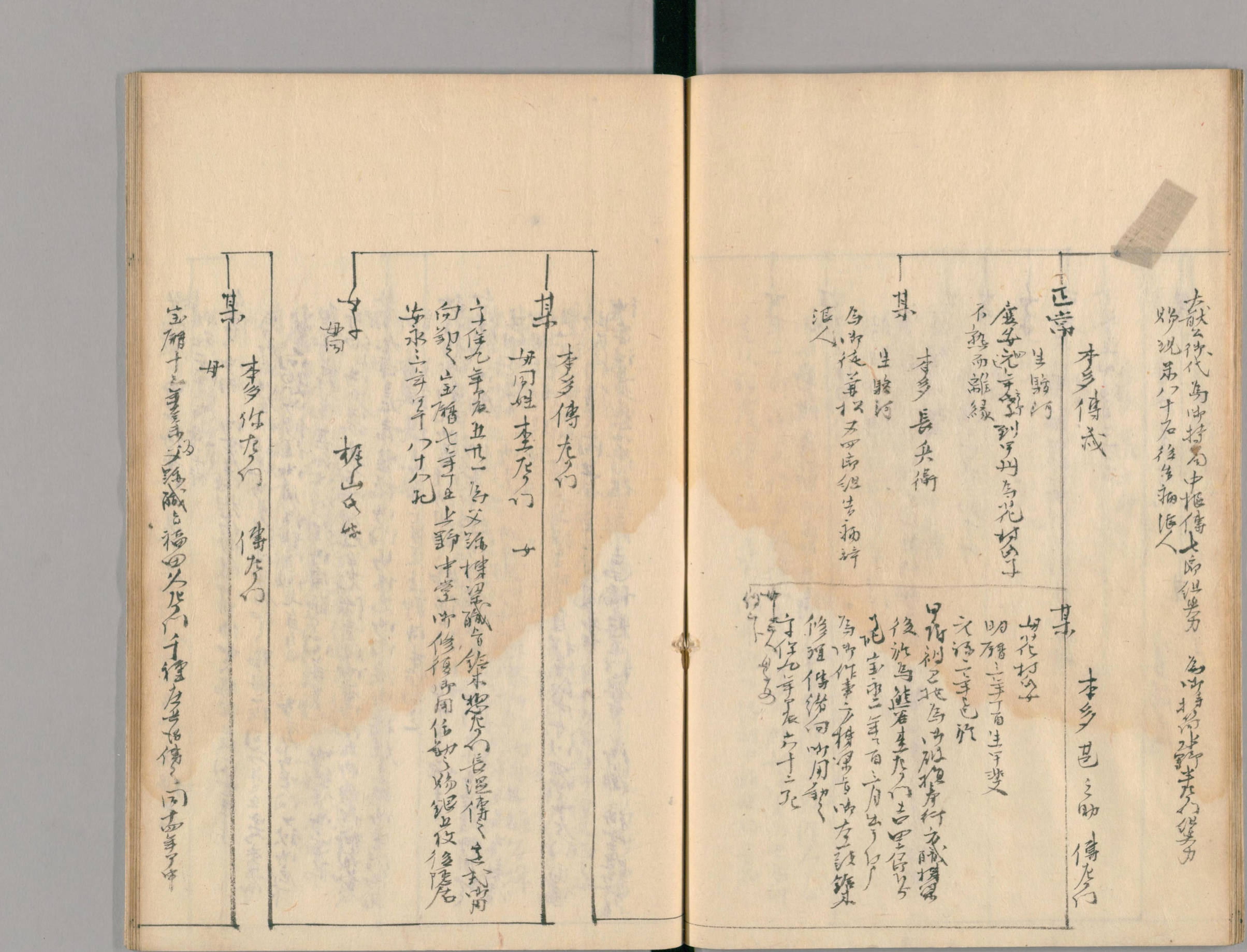
生駿州

女子　李多藤五郎

生駿州

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



生國殿　吹吉御本社白鳥大神　御修復吹用仰動く賜銀二枚
明和二年乙酉年
白髭吹廟　吹宝屋向惣御修復吹用仰動く賜銀二枚同六年丑
白髭吹居吹住職新規吹兼補吹用仰動く賜銀二枚同七年寅
歳向惣吹修復吹用仰動く同七年寅
吹兼吹舞鶴其外吹修復吹用仰動く賜銀二枚同九年酉
吹油　吹本体所更吹用仰動く賜銀二枚
那九年酉艦橋吹門馬場先吹
動く賜銀二枚同十年戌
白髭吹廟　吹本殿　御休息所
吹用仰動く賜銀二枚
寛政二年戌乃吹
助左衛門儀　同五年丑二月風雨
御本社幕末中寺以来本尊阿弥陀如来
橋寺道林寺　御廟　御宝殿御修復

吹作橋吹修復吹用仰動く賜銀二枚同六年寅
社堂向吹修復吹兼吹用仰動く賜銀二枚同
同七年辰二十二月吹書付を以寺領
出羽寺井上寿力寺儀く同八年申
吹兼吹用仰動く賜金二枚
高度伊賀寺儀く同十二年辛
五月死

某　本多大次郎

母

寛政十二年申年為父跡式高度伊賀寺
五百五石儀く為吹兼吹用仰動く
寺和元年辛酉十月廿五日致死去

某　本多安房守

変

生於[illegible]
享和元年酉十九一伝養父
傳之官村山筑後守上田五万石
文化四年卯十二月九伊勢守
[illegible]

某　李多伊兵衛
寅

文化四年卯十二月九加養父
次右衛門傳之　武徳用有
李多伊勢守

某　李多重郎
寅

文化十年酉二月養父
[illegible]
[illegible]

某　李多常五郎
寅

文化十三年申五月[illegible]
常田源之郎傳之　武徳用有
文政四年巳五月九隠

某　李多常次郎
母

文政四年巳五月九父[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

十四年卒法名相傳
法名相傳

某　孝多三年
　　黄

文治元年閏二月七日義文編旨
源之即蒲冠佐野肥後守初底野河内守
詩

某　孝多二年卒法名
　　黄

生土傳
文政七年十二月廿九日義文編旨
源之即蒲冠佐野肥後守初底野河内守大河内野守傳之宣旨
文禄四年即位改元慶長元年閏七月十二日薨法名相傳

水野出羽守忠初底野河内守傳之宣旨
万治元年閏十二月廿日薨法名相傳

某　孝多壱岐守
　　黄

天保二年辰十二月五日着名編旨
水野出羽守忠広寺泉水寺蒲冠佐
野肥後守傳之宣旨
文禄四年即位改元慶長元年閏七月十二日薨法名相傳

某　孝多壱岐守
　　黄
生土傳

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

序

夫當家鞏業智必以業
官務故通塞者立為副而不隆名聲乎
亦以切磋弼之功績鞏家
鉞而幸事祥歟為宰鞏之有年焉幸哉庸
田畑令五以所役于役嘉永書傳記如幸等按者
之而編著此一卷以為子孫勿忘我淳高序

文化七歲甲申秋

山田

文化元年冬十月八日編成自序
五月初用命之時著述方正記事之實

山田　本國信州ノ住信州
　　松任井伊家ニ仕ヘ後浪人

某　山田清兵衛　多枝

住信州金名住人

某　山田八左衛門

生国甘金名

長谷川清兵衛

通甘金名人

某　長谷川助左衛門

生国甘金名

長谷川清兵衛

通甘金名人

某　山田八左衛門

仕大江賀喜右衛門高後仕伊殿

朝比奈氏

妻

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

山田治盛
重幸
山田新助
女子
女子
八
女子
女子

某
山田善八郎
吉辰
山田五八郎
忠兵衛
長門守

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

山田源義
母

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

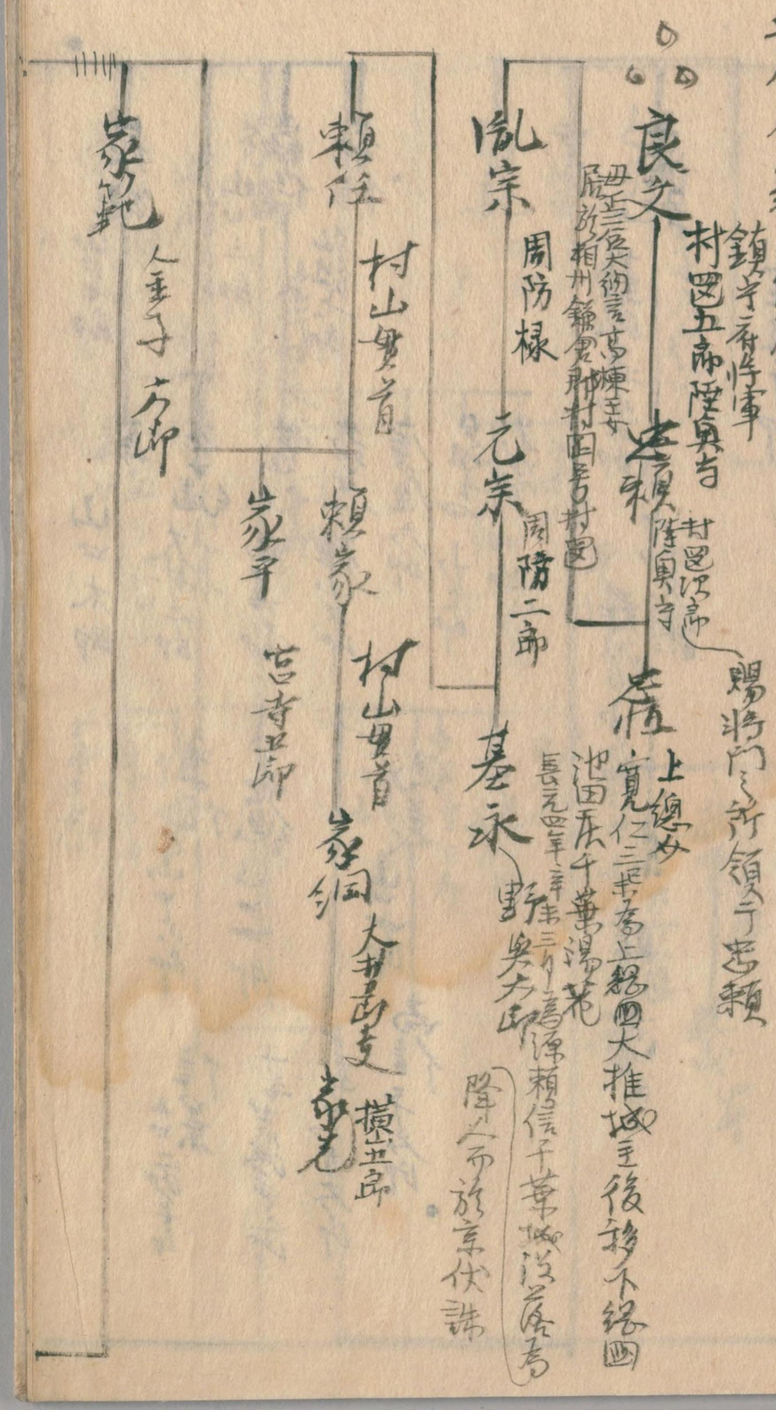
吉隆　山田権之助
寛　南都大職　山村原甚兵衛
實如　實如

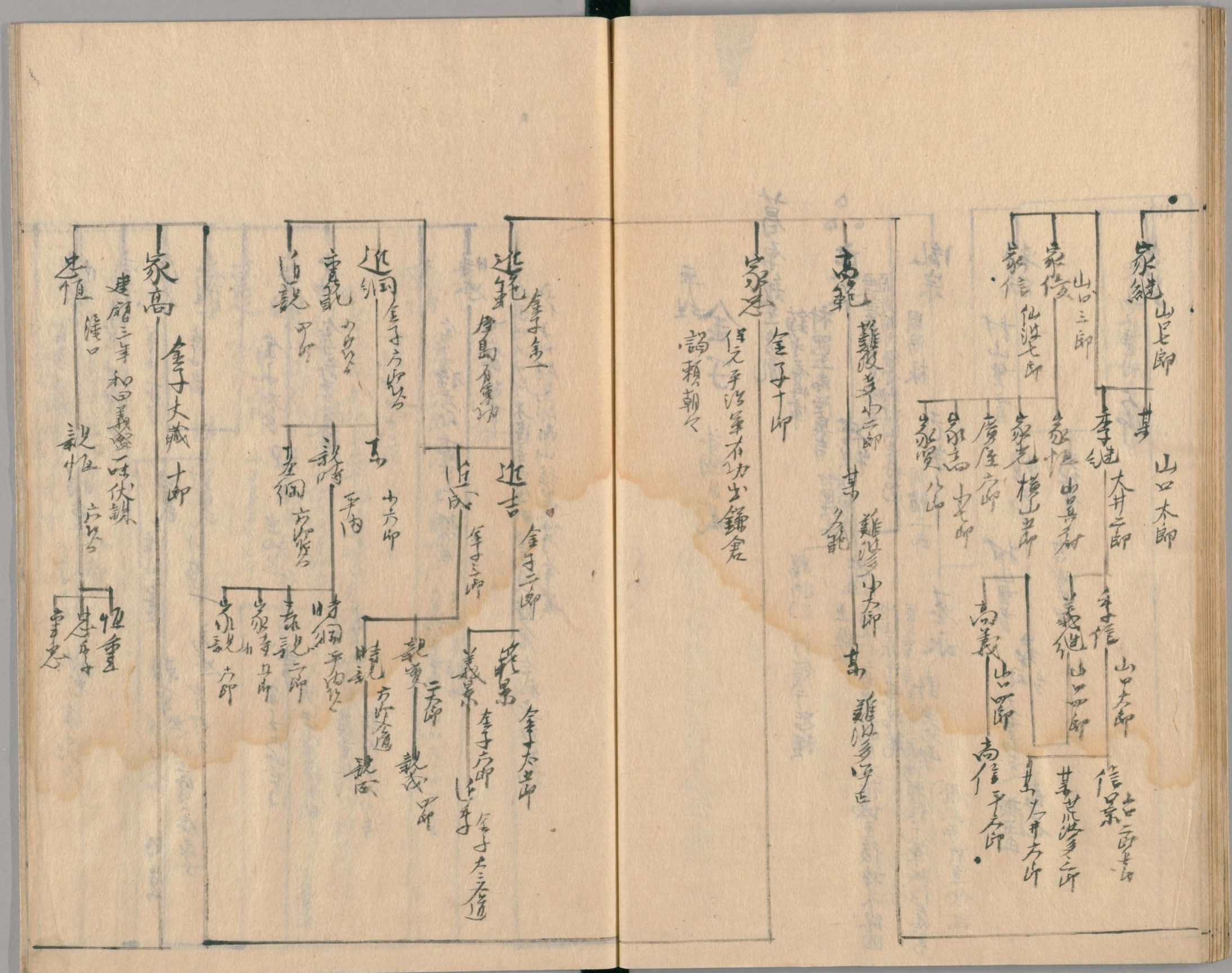
吉寧　山田源五郎
寛　加賀守　青木彦右衛門
實如
文化十二年乙亥十二月五日為養子
文政二年卯右七六九年廿四
吉貞　山田源六
寛　和守　羽里善之助
實如
文政六年未二月八養父吉睦以願御様御用手代可勤旨被
仰付候ニ付而ハ

吉昌　山田源八郎
寛　酒井雅楽頭　出淵伊惣次郎
實如　家来
文政十二年丑八月十二日睦如願為養子御用手代可勤旨被
仰付候ニ付而ハ
天保十九年申二月廿一日睦如願為養子御様御用手代可勤旨被
仰付候ニ付而ハ

勤方等閑ニ無之候ニ付而ハ
弘化二年巳十二月有不守
之旨被
仰渡候ニ付而ハ

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用


平姓
金子
葛原親王後胤
鎮守府將軍
村岡五郎陸奥守
良文
四十三代御宇高棟王女
居於相州鎌倉郡村岡号村岡
村岡次郎
陸奥守
賜將門ら許領千葉頼
忠頼
上總介
寛仁二年四大推地主後移下総国
池田五千葉御厨
長元四年三月三日高洋頼信子葉城没居号
陸奥守於京伏誅
良兼
良正
良将
良茂
良孝
良望
良文
良持
良平
良常
良基
良永
良将
良茂
良孝
良望
良持
良平
良常
良基
良永
良将
良茂
良孝
良望
良持
良平
良常
良基
良永
良将
良茂
良孝
良望



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

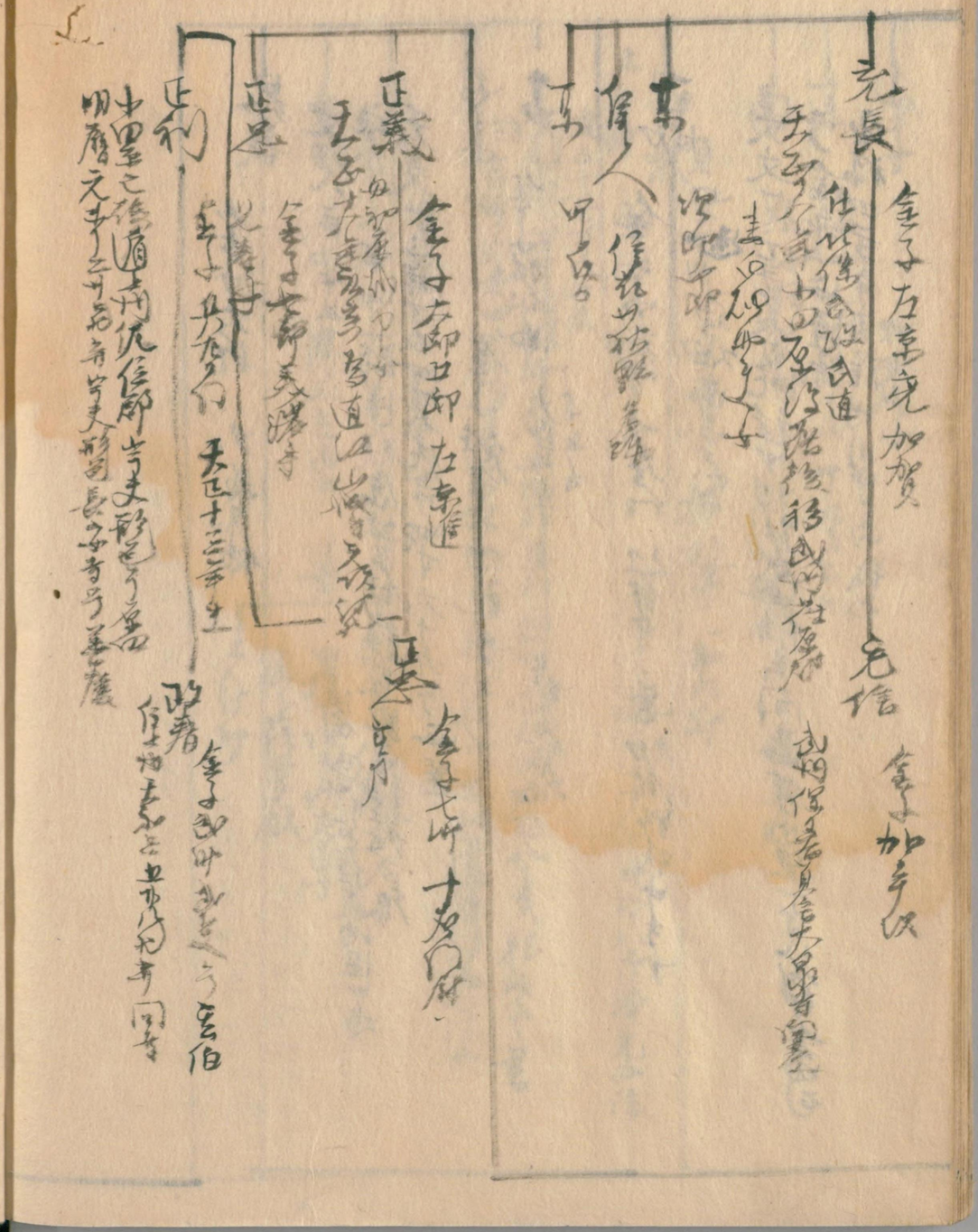
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

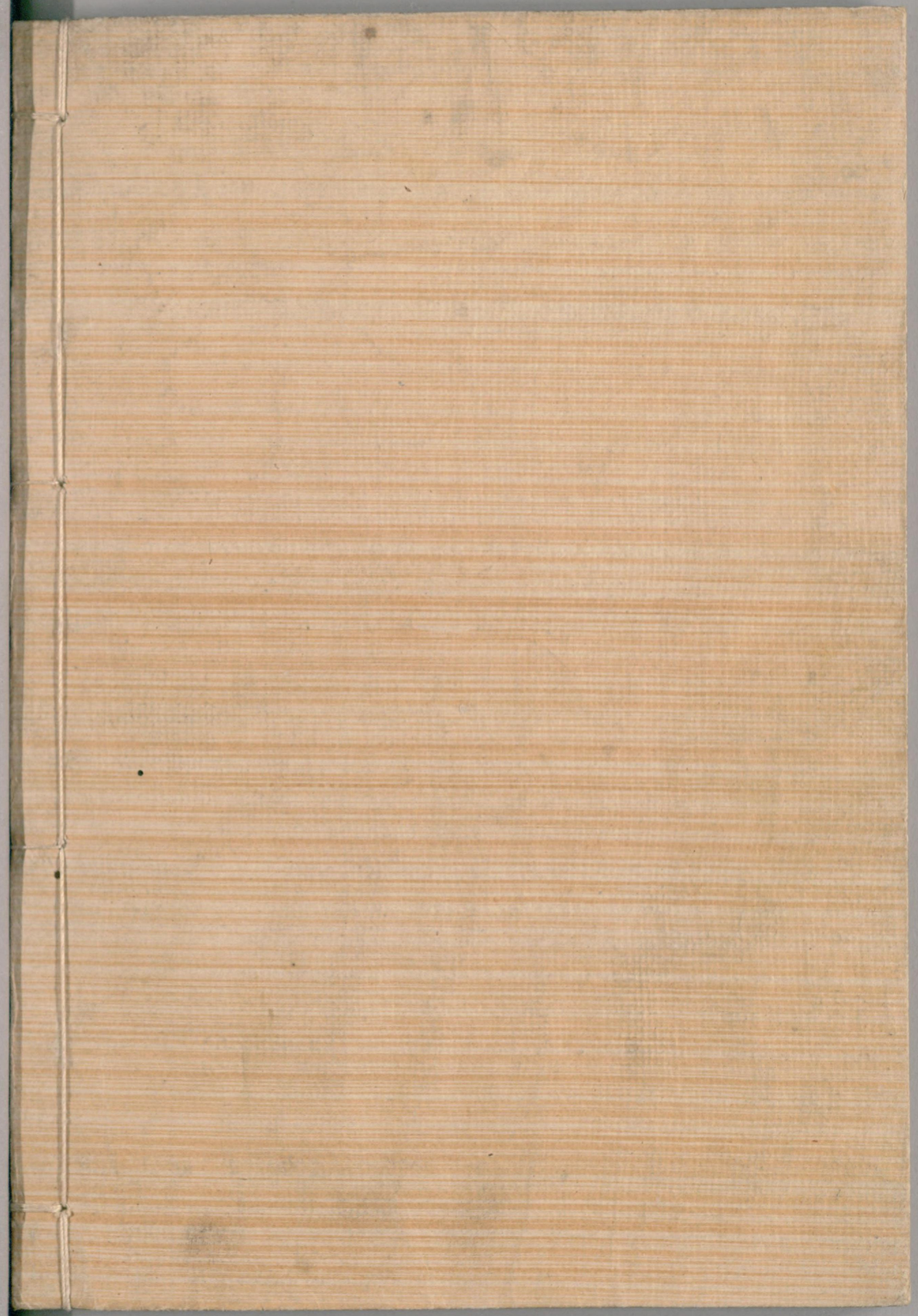
ガラス使用

838
297
116



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用